

第 72 回

構造工学シンポジウム

主催 日本学術会議

共催 公益社団法人土木学会

一般社団法人日本建築学会

本シンポジウムは、構造工学論文集 Vol.72A・B に掲載された論文等に関する発表や、構造工学分野における主要なテーマについて専門家の講演を行い、研究者や技術者の産官学を横断した学術技術交流の場となることを目的として開催します。

会 期 2026 年 4 月 11 日 (土)

4 月 12 日 (日)

会 場 宇都宮大学 陽東キャンパス

所在地：[栃木県宇都宮市陽東 7-1-2](#)

最寄駅：宇都宮ライトレール

宇都宮大学陽東キャンパス停留所

参加費 無 料

申込み 不 要

一般講演会

構造工学論文集 Vol.72A (土木部門)・B (建築部門) に掲載された論文・報告・総説について、著者による口頭発表 (発表 10 分と質疑 5 分) を行います。

日時

4 月 11 日 (土) 10:15~14:45

4 月 12 日 (日) 9:00~12:30

会場

8 号館 2 階 821~825 教室

10 号館 1 階アカデミアホール

プログラム

4 月 11 日 (土) pp.4~8

4 月 12 日 (日) pp.9~13

構造工学論文集 Vol.72A・B

シンポジウム開催までに J-STAGE にて無償公開されま
す。論文は次のリンクから閲覧できます。

[Vol.72A \(土木部門\)](#) / [Vol.72B \(建築部門\)](#)

記念講演会

「構造工学の視点から考える地域防災」

2024 年 1 月 1 日に能登半島で発生した M7.6 の地震では、珠洲市や輪島市をはじめとする地域において多数の木造建物が被害を受けるとともに、土砂崩れや道路の寸断などが発生し、住民生活に深刻な影響を及ぼしました。さらに、同年 7 月には豪雨災害も発生し、これらの複合的な災害の影響により、長年居住してきた住民の地域外への流出が継続しています。

国内各地域での大規模災害に対応した防災体制や復興計画を如何に構築するかは喫緊の課題です。構造工学は、防災・減災の基盤を成す分野であり、地域防災や強靱な街づくりの議論には欠かすことができません。

本シンポジウムの開催地である栃木県は、2011 年東北地方太平洋沖地震、2015 年豪雨による鬼怒川氾濫などの自然災害を経験しています。また、会場である宇都宮大学では、防災に関わる教育・研究・地域連携を総合的に推進する地域防災に力を入れています。

今回の記念講演会は「構造工学の視点から考える地域防災」をテーマに、特別講演では、能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく広域地域災害への備えに関して日本学術会議での議論を紹介します。その後のパネルディスカッションでは、2024 年能登半島地震等の事例を踏まえ、地域防災さらには広域の防災・減災対策を建築構造、土木構造を対象とした構造工学の視点から振り返り、地方だけでなく首都圏等における今後の防災・減災に関わる技術を議論していきます。

日時

4 月 11 日 (土) 15:00~17:45

会場

10 号館 1 階アカデミアホール

プログラム (各タイトルは現時点での予定です)

1. 開会挨拶 (15:00)

佐々木 葉 (日本学術会議土木工学・建築学委員会副委員長
/早稲田大学理工学術院教授/前 土木学会会長)

米田 雅子 (防災学術連携体代表理事/宇都宮大学理事/
前 日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長)

司会：永野 正行 (東京理科大学)

2. 特別講演 (15:10)

能登半島地震・豪雨災害の教訓に基づく
広域地域災害への備え

竹内 徹 (日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長/東
京科学大学名誉教授/前 日本建築学会会長)

司会：永野 正行 (東京理科大学)

3. パネルディスカッション (16:15)

地域防災に貢献する構造工学

「2024 年能登半島地震等における建物被害」

荒木 康弘 (国土技術政策総合研究所住宅研究部住宅生産研究室室長)

「大都市圏フリンジにおけるコミュニティと地域防災」

石井 大一郎 (宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科地域デザインセンター地域防災部門長)

「災害時の線状インフラの機能を再考する」

鎌田 泰子 (神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻教授)

「橋は地域の生命線-地震後に“使える”構造をめざして」

藤倉 修一 (宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科教授)

司会：山本 憲司 (東海大学)

田井 政行 (摂南大学)

交流会 (関連行事)

初日の記念講演会終了後に、一般講演会参加者や記念講演会講師を交えた懇親会が開催されます。

主催

一般社団法人日本建築学会 構造委員会
構造工学論文集編集小委員会

日時

4月11日(土) 18:00~19:30

会場

11号館1階アクティブラーニング教室

会費

5,000円(予定・現地支払い)

参加意向アンケート

交流会への参加をご検討されている方は、[アンケートフォーム](#)へのご回答をお願いします。なお、ご回答は当日の出欠を制約するものではありません。

土木学会ポスターセッション (関連行事)

土木学会による若手ポスターセッション「[次世代構造技術者の Work in Progress](#)」が開催されます。

主催

公益社団法人土木学会 構造工学委員会
若手構造技術者連絡小委員会

日時

4月11日(土) 11:45~15:00

4月12日(日) 10:45~12:30

会場

8号館1階エントランスラウンジ

CPD 実績登録申請

土木部門

本シンポジウムは土木学会 CPD の認定プログラムです。申請方法は土木学会構造工学論文集編集小委員会 [Web ページ](#)をご覧ください。

建築部門

本シンポジウムは建築 CPD 情報提制度の認定プログラムです。実績登録をご希望の方は、当日中にシンポジウム受付にて申請名簿にご記入ください。

1日目：一般講演会2単位、記念講演会3単位

2日目：一般講演会3単位

問合せ先

土木部門に関するお問合せ

■発表方法・論文集・プログラムについて

土木学会構造工学論文集編集小委員会幹事団

E-Mail：struct-eng@ml-jsce.jp

※開催期間中の緊急連絡も上記へお願いいたします。

■参加申込み・CPD について

土木学会事務局(岡崎)

E-Mail：okazaki@jsce.or.jp

建築部門・その他のお問合せ

日本建築学会事務局(加藤)

E-Mail：kato@aij.or.jp

構造工学論文集 Vol.73 論文投稿のご案内

本年も構造工学論文集 A (土木部門) 及び B (建築部門) への論文投稿を募集します。投稿に係る資格要件はありませんので、皆様のご投稿をお待ちしています。投稿要領は、構造工学論文集編集小委員会の Web ページにて公開します。

・[土木部門 Web ページ](#) (土木学会)

・[建築部門 Web ページ](#) (日本建築学会)

一般講演会タイムテーブル

区分	土木 1	土木 2	土木 3	土木 4	建築 1	建築 2
会場	8号館 2階 822 教室	8号館 2階 823 教室	8号館 2階 825 教室	10号館 1階 アカデミアホール	8号館 2階 821 教室	8号館 2階 824 教室
4月11日 (土)	10:15~11:45 構造安定・耐荷 力・構造一般・設 計工学・計算力 学(1)	10:15~11:45 衝撃・衝突・爆発 (1)	10:15~11:45 鋼構造・橋(1)	10:45~11:45 構造動力学・振 動・風工学(1)		
	13:00~14:30 構造安定・耐荷 力・構造一般・設 計工学・計算力 学(2)	13:00~14:30 衝撃・衝突・爆発 (2)	13:00~14:30 鋼構造・橋(2)	13:00~14:00 構造動力学・振 動・風工学(2)	13:00~14:30 鉄筋コンクリー ト構造・合成構 造・鋼構造	13:00~14:30 3D プリント技 術・繊維補強・構 造力学 【合同セッション1】
				15:00~17:45 記念講演会 ・特別講演 ・パネルディスカ ッション		
4月12日 (日)	9:15~10:45 コンクリート構 造・合成・複合/ 木構造・橋(1)	9:30~10:45 地震工学・構造 物の耐震	9:15~10:45 鋼構造・橋(3)		9:00~10:45 振動・応用力学・ 空間構造・合成 構造	9:00~10:30 木質構造
	11:00~12:15 コンクリート構 造・合成・複合/ 木構造・橋(2)	11:00~12:00 緊急仮設橋			11:00~12:00 木質構造・合成 構造・振動	11:00~12:30 振動・空間 【合同セッション2】

一般講演会の講演時間および進行

1題当たりの 講演時間	うち発表時間	うち質疑時間	予鈴・本鈴
15分	10分	5分	1 鈴 発表終了2分前 2 鈴 発表終了・質疑開始 3 鈴 質疑終了(講演者交代)

一般講演会プログラム 4月11日(土)

構造安定・耐荷力・構造一般・設計工学・計算力学(1)

○は講演予定者を、*は報告を示す。

【日時】4月11日(土) 10:15~11:45

【区分】土木1

【会場】8号館2階822教室

【座長】北根安雄(京都大学)

- (1) SBHSによる鋼十字断面柱に対する熱履歴付与および単調圧縮載荷実験
○廣畑幹人, マグリカマーティン, 浜田文斗, 蔣鋒
- (2) 落橋防止用補剛連結板の破断モード制御に関する解析的研究
○近藤諒一, 杉浦侑佳, 葛漢彬
- (3) サイドブロックに用いる長締め接合ボルトの曲げ・せん断複合作用下における力学特性に関する実験的研究
大原拓馬, ○渡部慎也, 松村政秀
- (4) 繰り返し超過地震動を受ける鋼アーチ橋支柱実験と高精度計測技術の応用による再現解析モデルの検討
○橋本尚史, 海老澤健正, 日高菜緒, 馬越一也, 岩村真樹, 山田忠信
- (5) 超過洪水による鈹桁橋梁の流出崩壊メカニズムと数値流体解析(CFD)の検証について
○大谷俊, 有尾一郎, 井上卓也
- (6) 実データに基づく道路橋の耐久性能の定量的評価方法の検討
盛岡諒平, ○櫻庭浩樹, 横井芳輝, 玉越隆史, 澤田守

構造安定・耐荷力・構造一般・設計工学・計算力学(2)

○は講演予定者を、*は報告を示す。

【日時】4月11日(土) 13:00~14:30

【区分】土木1

【会場】8号館2階822教室

【座長】堤成一郎(大阪大学)

- (1) 圧縮力を受ける高力ボルト摩擦接合された2面添接ガセットプレートの簡易解析モデルの検討
○橋本国太郎, 中西遼磨
- (2) Mid-span deflection estimation of simply supported bridges using slopes at end supports
○Phyoe W. Hein, Kunitomo Sugiura, Yasuo Kitane, Yoshinao Goi, Kazuo Takase, Shigeyuki Tanaka
- (3) 構造ヘルスマニタリングと技術者判断を融合した意思決定枠組みの構築
○阿久津慶, 王志豪, 金哲佑, 河邊大剛
- (4) オホーツク地域の自治体における橋梁の部材の損傷に影響を与える気象・地理的要因の検討
○大内晴貴, 宮森保紀, 齊藤剛彦, 門田峰典, 北原優, 藤森智也, 三上修一
- (5) 展開可能なセンサーズ FEM における OC 法と SA 法のハイブリッド最適化
○伊集院治輝, 吉田啓悟, 有尾一郎
- (6) 砂利をモルタルで部分的に固結したコンクリートの力学特性および応力伝達機構の考察
○藤山知加子, 仙頭紀明, 子田康弘

衝撃・衝突・爆発(1)

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】4月11日（土）10:15～11:45

【区分】土木2

【会場】8号館2階823教室

【座長】栗橋祐介（金沢大学）

- (1) *真珠層を模倣した複合材に対する内部爆発実験
○市野宏嘉，林泰成，別府万寿博，原口望
- (2) 近接爆発を受ける鋼板たわみの簡易評価法の提案およびハニカムパネルの緩衝効果に関する基礎的考察
○別府万寿博，郷原将哉，市野宏嘉
- (3) 接触爆発を受ける構造用ケーブルモデルの破壊特性と防護対策に関する研究
○別府万寿博，河内晟己，伊藤二郎，松澤遼，市野宏嘉
- (4) 爆風圧および破片衝突を受ける避難施設の損傷評価システムの構築
○別府万寿博，小池めい，東野滉平，市野宏嘉
- (5) 飛翔体衝突を受ける地下避難施設の耐衝撃性能評価に向けた解析的基礎検討
○楠田創，松田学，松本康資，園田佳巨
- (6) 寒冷地を想定した低温の緩衝ゴム上に一端が自由落下する RC 梁の耐衝撃挙動
○川村真生，瓦井智貴，小室雅人，佐藤京，寺澤貴裕，久慈茂樹，余野智哉，岸徳光

衝撃・衝突・爆発(2)

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】4月11日（土）13:00～14:30

【区分】土木2

【会場】8号館2階823教室

【座長】市野宏嘉（防衛大学校）

- (1) 縮小模型実験によるケーブル式堰堤の設置条件と自重が張力に与える影響
○宮原邑太，堀口俊行，萬徳昌昭
- (2) ひし形金網の有無が従来型落石防護柵の耐衝撃挙動に及ぼす影響
○小室雅人，中村拓郎，瓦井智貴，氏家和広，岸徳光
- (3) 流木群に含まれる根付流木が流木捕捉工に与える荷重の影響
○竜川太志，堀口俊行
- (4) PC まくらぎの静的および衝撃耐荷性状に関する基礎的研究
○吉田怜治，玉井宏樹，後藤恵一，渡辺勉
- (5) PP および PVA 繊維補強セメント複合材料の動的曲げ特性に関する実験的研究
○別府万寿博，岩根利浩，小川敦久，室賀陽一郎，市野宏嘉
- (6) 接触爆発を受ける PVA 繊維補強コンクリート板の耐爆性能に関する実験的研究
○別府万寿博，長谷川大，小川敦久，市野宏嘉

鋼構造・橋(1)

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】 4月11日（土）10:15～11:45

【区分】 土木3

【会場】 8号館2階825教室

【座長】 判治剛（名古屋大学）

- (1) 2主桁橋の圧縮フランジの横桁間の横座屈に対するU形フレームの必要剛度について
○尾下里治，松本健太郎
- (2) 地震時水平荷重および活荷重載荷時における端横桁を有する鋼I桁橋支点部の耐荷性能
○稲熊真人，門田峰典，宮下剛，野阪克義，海老澤健正，王智連
- (3) 横断歩道橋の階段床組みに生じる腐食欠損が当初性能に及ぼす影響
○門田峰典，三ツ木幸子，岩本彩伽
- (4) 損傷部の点群データと一般部の寸法情報を用いる統合型のFEモデル構築
○小室翔，宮森保紀，門田峰典，齊藤剛彦，北原優，吉田明燁
- (5) Temperature-based evaluation of through truss bridge integrity: a study on thermal effects and damage sensitivity
○Ruobing Sun, Yasuo Kitane, Kunitomo Sugiura
- (6) 車線別床版取替工法における縦目地部床版の輪荷重走行試験方法の考案と試験実施
○渡邊輝康，野口利雄，仲野谷渉，三谷和裕，島崎利孝，楨駿介，松井繁之

鋼構造・橋(2)

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】 4月11日（土）13:00～14:30

【区分】 土木3

【会場】 8号館2階825教室

【座長】 清川昇悟（横河ブリッジホールディングス）

- (1) フィラープレートを有する赤さび面におけるF10TW長尺ボルト継手のナット回転法の導入軸力試験
○南邦明，横山秀喜，木村健太郎，村上貴紀，利光崇明
- (2) 環境配慮型高力ボルトを用いた摩擦接合継手のすべり挙動に関する実験的研究
○木川廉，吉元大介，神野夢希，山口隆司
- (3) 高強度スタッドボルト摩擦接合継手のスタッドせん断強度に関する研究
○彭雪，奥村学，山口隆司，姚凌波，仲地健二郎，尾籠秀樹，吉田賢二
- (4) *高強度ねじ付きスタッド摩擦接合継手を用いた合成床版の輪荷重走行試験
○奥原大貴，田淵航，平野貴大，秋山達哉，石川誠，段下義典，吉田賢二，山口隆司
- (5) 高力ボルト摩擦接合継手の連結板における最外列ボルト周辺の腐食減肉がすべり耐力に及ぼす影響
○山下修平，下里哲弘，玉城喜章，ムムタズヤシン，郎宇
- (6) 当て板補修されたストップホールを有する鋼板の分担軸力の推定
○吉田悠真，石川敏之，水谷壮志

構造動力学・振動・風工学(1)

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】 4月11日（土）10:45～11:45

【区分】 土木4

【会場】 10号館1階アカデミアホール

【座長】 宮森保紀（北海道大学）

(1) 複数バルジングモードを考慮した二槽式タンクの地震時作用動水圧簡易推定

○渡邊尚彦，細野隼佑，青木大祐

(2) 半円形平面を有するリングガーダー構造を用いた歩道橋の力学特性に関する基礎的研究

○瀧口和也，宮里直也，岡田章，鴛海昂，山崎瑠真

(3) *振動計測によるアーチ型水管橋の異常検出の有効性

○鈴木崇伸，鎌田泰子

(4) 塔体加速度応答を用いた送電線の異常振動検知に関する検討

鹿島祥太，○富田知優，栗原幸也，佐伯昌之

構造動力学・振動・風工学(2)

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】 4月11日（土）13:00～14:00

【区分】 土木4

【会場】 10号館1階アカデミアホール

【座長】 野田稔（徳島大学）

(1) *Investigating the effect of crosswind on the aerodynamic stability of motorcycle

○Vu Anh Do, Hiroshi Katsuchi, Jiaqi Wang

(2) 衝突角に応じた着雪率を考慮した電線着雪の発達形状推定とその空力特性の評価

○松宮央登，垂石早紀，春名健太郎，梶山千穂，張宇卓，野口恭平，佐藤研吾，富樫数馬，八木知己

(3) End to end damage detection in cables of cable-stayed bridge using two Principal Component Analysis-based methods

○Haobo Shi, Hiroshi Katsuchi, Jiaqi Wang

(4) スパイラルロッドによる鋼管鉄塔部材の渦励振対策の最適化に関する検討

○垂石早紀，早田直広，田中恵悟，山崎智之

鉄筋コンクリート構造・合成構造・鋼構造

○は講演予定者を，*は報告を示す。

【日時】 4月11日（土）13:00～14:30

【区分】 建築1

【会場】 8号館2階821教室

【座長】 山本憲司（東海大学）

- (1) 等価線形化法を援用して推定する中低層 RC 造建物の応答変位評価に関わる減衰補正係数の一考察
○伊藤嘉則，楠浩一，毎田悠承，勅使川原正臣
- (2) 定着筋と埋込みを併用した既製杭頭接合部の曲げ耐力評価に関する研究
○王珂，毛利一登，日比野陽
- (3) 鉄骨梁が偏心する鉄筋コンクリート柱・鉄骨梁混合構造ト字形接合部の終局耐力
○青木亮太，副田愛翔，馬場望，宮内靖昌
- (4) 鉄骨造事務所建物の被害推定指標に関する研究
○秋山虎太郎，宮本慎宏，西内佑太，日根居亮佑，坂本潤哉
- (5) Design and construction of steel braced frames in Japan, the US, and EU
○Lilliann LAI, Massimo CICIA, Taichiro OKAZAKI, Mario D'ANIELLO, Raffaele LANDOLFO
- (6) 大型間仕切壁を実現する鋼製下地材の開発 等分布載荷実験および振動台実験による面外構造特性の確認
○山崎康雄，安田稜太，金川基，岩下裕樹

3D プリント技術・繊維補強・構造力学【合同セッション1】

○は講演予定者を，*は報告を示す。

【日時】 4月11日（土）13:00～14:30

【区分】 建築2

【会場】 8号館2階824教室

【座長】 谷口望（日本大学）

- (1) 常用荷重の繰返しによる 3D プリンタ PA12 樹脂造形物の粘弾性特性の変化
○桑村仁
- (2) 3D コンクリートプリンティングにおける材料不均質性が積層体の力学特性に与える影響の解析的評価
○吉原侖，橋本勝文
- (3) 応答解析手法による風応答特性
○金容徹，扇谷匠己，北原史也，岡崎充隆
- (4) 開口部を有する建築物に作用する津波荷重と津波入射角の関係
○高橋伽羅，小幡昭彦，寺本尚史，高館祐貴，丁威
- (5) 端部テーパを有する CFRP 成形材を用いた鋼軸力部材の補強に関する理論解析および接着長さ
○櫻井俊太，秀熊佑哉，大垣賀津雄，宮下剛，奥井義昭
- (6) *プラズマ処理した補強用熱可塑性 CFRP シートを用いた RC 部材のせん断補強効果に関する実験的検討
○吉本智咲，和田倫明，栗橋祐介，柳田龍平

一般講演会プログラム 4月12日(日)

コンクリート構造・合成・複合／木構造・橋(1)

○は講演予定者を，*は報告を示す。

【日時】4月12日(日) 9:15～10:45

【区分】土木1

【会場】8号館2階822教室

【座長】藤山知加子(横浜国立大学)

(1) 熟履歴を受けた合成桁の疲労挙動に関する実験的研究

○吉田拓人，岡田洸，高橋佑介，今川雄亮，大山理

(2) *Experimental study on expansive behavior of static disintegrator for fabricating bond anchoring devices for CFRTP rods

○Hosaka Ventura, Yuuki Alejandro, Miyazato Shinichi

(3) Connection capacity of the headed stud joint connection in steel-concrete composite-reinforced concrete hybrid girder

○Chamara Sandaruwan Upul Kumaraage, Takeshi Maki

(4) 炭素繊維シート補強コンクリート梁に対する打音データと畳み込みオートエンコーダを用いた非破壊損傷評

○西敏臣，路馳，笹堂泰希，園田佳巨

(5) 転移学習を適用したRC梁の損傷判定におけるアンサンブル学習導入による判定性能向上

○イン ヴィラバンニャー，黒田一郎

(6) 打音を用いた表面塗装RC供試体の欠陥判定における陽性データ混入と局所外れ値因子法の学習手法の検討

○鈴木大地，黒田一郎

コンクリート構造・合成・複合／木構造・橋(2)

○は講演予定者を，*は報告を示す。

【日時】4月12日(日) 11:00～12:15

【区分】土木1

【会場】8号館2階822教室

【座長】三木朋広(神戸大学)

(1) デジタル画像相関法を用いたディープビームにおける圧縮ストラットの形成および破壊過程の可視化

○子田康弘，八木智之

(2) あき重ね継手を有するRCはりの耐荷性能に及ぼす継手部の横方向鉄筋の影響

○伊谷玲伽，栗橋祐介，根岸愛生

(3) 面外荷重が作用するRC床版の上段鉄筋の振る舞いに関する解析的研究

○横山広，曳野誠也，赤松賢尚，栗橋祐介

(4) 長期供用および劣化損傷がPC柱の構造性能に与える影響に関する研究

○上野貴行，玉井宏樹，岩永莉子，春口雅寛，池田博嗣，平野直人

(5) コンクリート中の鋼材を長手方向に伝搬する弾性波のモデル化と実験的検証

中畑和之，和田啓志，清水鏡介，○丸山泰蔵

地震工学・構造物の耐震

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】4月12日（日）9:30～10:45

【区分】土木2

【会場】8号館2階823教室

【座長】豊岡亮洋（鉄道総合技術研究所）

- (1) *橋梁用積層ゴム支承材料のオゾン亀裂状態に関する評価基準定量化の基礎的検討
○久慈茂樹，近藤寛朗，松本高志，今井隆
- (2) ゴム支承表面に生じるひずみ分布の実験的研究
○太田優衣奈，永田和寿，小高大傑，松下哲也，渡邊幸太，出原航太，
岩本朋久，清水勝利，仲市真吾，杉浦邦征，北根安雄
- (3) 上揚力抵抗機構を有する2方向すべり支承の開発
○金澤高宏，篠原聖二，曾我恭匡，篠田隆作，姫野岳彦，高畦武志，森屋圭浩，榎本照久，長山祐樹，高橋良和
- (4) ステンレス鋼製矩形水槽のバルジング振動解析時に設定される諸条件の影響評価
○青木大祐，坂剛至，林健太郎，小野祐輔，鈴木森晶
- (5) 水管橋上部工用ベローズ型伸縮可撓継手の地震時大振幅変位に対応する極低サイクル疲労特性
○西勇也，金丸佑樹，小池武，鍛田泰子

緊急架設橋

○は講演予定者を，*は報告を，**は委員会報告を示す．

【日時】4月12日（日）11:00～12:00

【区分】土木2

【会場】8号館2階823教室

【座長】中村聖三（長崎大学）

- (1) **急速架設可能な緊急仮設橋の構造と管理方法の提案
平池勉，佐々木貴信，富岡仁計，本田修一，近広雄希，渡部慎也，渡辺浩，平沢秀之，○森田千尋
- (2) **緊急仮設橋の利活用促進に向けた運用課題の整理と提案
○近広雄希，小野秀一，渡部慎也，松田伊佐雄，富岡仁計，蔵園和人
- (3) **恒久利用されてきた仮設橋の車両通行時の加速度応答を基にしたたわみ計測による耐荷力評価
木下幸治，○目崎裕太，本田修一，松田伊佐雄，渡邊学歩
- (4) **3D 河川点群データおよび BIM/CIM を活用した自治体の緊急仮設橋意思決定支援フレームワークの提案
○渡邊学歩，木下幸治，松田伊佐雄

【日時】 4月12日（日） 9:15～10:45

【区分】 土木 3

【会場】 8号館 2階 825 教室

【座長】 服部雅史（中日本高速道路株式会社）

- (1) *角溶接部の諸元分析に基づく既設鋼製橋脚における低サイクル疲労き裂発生挙動の推定
○真木有岳，川東龍則，岩崎雅紀
- (2) IoT データロガーを用いた鋼鉄道橋箱桁の疲労き裂モニタリング
○山口真，石川敏之，内田純平
- (3) 荷重伝達型十字溶接継手の回し溶接部におけるグラインダー処理の疲労強度向上効果
○吉田善紀，内田大介，杉山拓也，小林裕介，豊原匡織，櫛谷拓馬
- (4) ソールプレート溶接部のルートき裂に対する ICR 処理の効果
○馬光恩，石川敏之
- (5) 鋼床版垂直補剛材上端への切欠きの施工による応力低減効果の簡易推定
○清水優，館石和雄，判治剛，末次宏基，長谷川秀也
- (6) 鋼床版横リブ交差部のデッキ進展き裂に対する局部応力に基づく疲労強度評価と構造詳細の影響に関する検討
○鈴木翔馬，Mark Joel Bañares Uaje，村越潤

振動・応用力学・空間構造・合成構造

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】4月12日（日）9:00～10:45

【区分】建築1

【会場】8号館2階821教室

【座長】小檜山雅之（慶應義塾大学）

- (1) 縮小模型実験における動的相似則に着目した免震建物の地震応答に関する一研究
○経沢一平，岩井信弘，石井建
- (2) 高層建物に連層配置された鋼板耐震壁の板幅と板厚が地震応答に及ぼす影響
○後藤広大，佐藤大樹，陳引力，小野潤一郎，木村征也，二島冬太，佐野航
- (3) 室内のレジリエンス性能向上に向けた家具の地震時挙動に関する研究
○田附遼太，井上雅之，小林祐亮，林徹，青木崇，梶原浩一，正月俊行，佐藤克哉，高橋典之
- (4) Prediction of self-excited vibrations in large-span cantilevered roofs subjected to high winds
○Xingyu CHEN，Jingyao ZHANG
- (5) 偏心を有する中低層建物を対象とした頂部の並進および回転加速度応答に基づく多入力多出力システム同定
○立石海斗，藤田皓平
- (6) 偏心低減法を用いたフニクラシエルの形状解析 偏心距離の算定方法の検討
○山本憲司，及川司，塩見裕幸
- (7) 炭素繊維により補強された送電用鉄塔部材の座屈耐力評価に関する研究
○井川直大，山本雄大，石川浩平，中村毅，石田交広

木質構造・合成構造・振動

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】4月12日（日）11:00～12:00

【区分】建築1

【会場】8号館2階821教室

【座長】山田耕司（豊田工業高等専門学校）

- (1) 鋼とLVLを嵌合接合した複合梁の曲げ実験
○田中涼舞，小寺直幸，藤田正則
- (2) 鋼製ロッキング柱付与による木造住宅の安全性向上効果の検証 損傷確率を用いた安全性能評価
○竹塚駿也，網元佑華，小澤雄樹
- (3) ロッキング柱を利用した木造住宅の地震応答性状 縮小モデルを用いた繰り返し入力による倒壊実験
○白石竜輝，堤竜輝，小澤雄樹，年縄巧，松尾智恵
- (4) 中大規模木造への適用を想定した柱-横架材接合部のモーメント抵抗性能
○海瀬啓，大迫翔輝，河原大，本多裕作，林将利，小林裕明，稲山正弘，濱野裕仁，笹谷真通，小林研治

木質構造

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】 4月12日（日） 9:00～10:30

【区分】 建築 2

【会場】 8号館 2階 824 教室

【座長】 森拓郎（広島大学）

- (1) 同じ耐力で接合方法の異なる柱脚柱頭金物が耐力壁の性能に及ぼす影響 耐力壁の一評価指標に関する検討
○照井清貴，杉本泰輝，神戸渡，大橋好光
- (2) 機械学習を用いた異なる形状の壁土圧縮試験体の応力-ひずみ関係の変換
○馬場花和，村本真
- (3) 洋風木造建築に用いられる大断面筋かいを有する木造軸組架構の耐震性能評価に関する研究
○岡本裕貴，宮本慎宏，宇都宮直樹
- (4) 耐力壁の違いが木造住宅の保有耐力・最大変位応答に与える影響
○山田耕司
- (5) 微動測定による伝統的木造建築の固有振動数と含水率変動に関する研究 一間四方木造軸組試験体の 16 ヶ月間の計測結果
○藤田香織，保坂瑞希，豊田亮博，福島佳浩，陳瑞涵
- (6) 地震動を受けるランダム壁配置による木造住宅モデルの捩れ振動特性に関する一考察 1方向の地震入力の場合
○山田明

振動・空間【合同セッション 2】

○は講演予定者を，*は報告を示す．

【日時】 4月12日（日） 11:00～12:30

【区分】 建築 2

【会場】 8号館 2階 824 教室

【座長】 藤田香織（東京大学）

- (1) プレテンションが与えられたばねを用いた双方向非線形エネルギーシンク
○和田大河，小檜山雅之
- (2) プレストレスを減少させた PC 桁の振動特性に関する基礎的検討
○片岡渉，宮森保紀，門田峰典，齊藤剛彦，広野邦彦，藤原啓隆，吉岡憲一，齋藤裕俊
- (3) 異なる展開角を有するシザーズ橋の梁近似モデルに基づく鉛直固有振動数の推定
○遠藤名和宏，近広雄希
- (4) シザーズ構造を用いた折畳みパネル橋の提案とその基礎力学特性
○田中翔也，近広雄希，大野紅実
- (5) 張弦トラス構造の中間接合金具部におけるケーブルの滑動が構造挙動に及ぼす影響に関する研究
○小櫃汐音，宮里直也，岡田章，鴛海昂，設樂源太
- (6) Fundamental research on active seismic isolation with proportional negative stiffness damper
○Jiaji LIU, Hideto KANNO

シンポジウム会場

- ・会場は宇都宮大学 陽東（ようとう）キャンパスです。

宇都宮大学 陽東キャンパス
栃木県宇都宮市陽東 7-1-2

〈JR 宇都宮駅からの交通のご案内〉

LRT：

宇都宮駅東口～宇都宮大学陽東キャンパス
乗車約 10 分，下車後正門まで徒歩 9 分

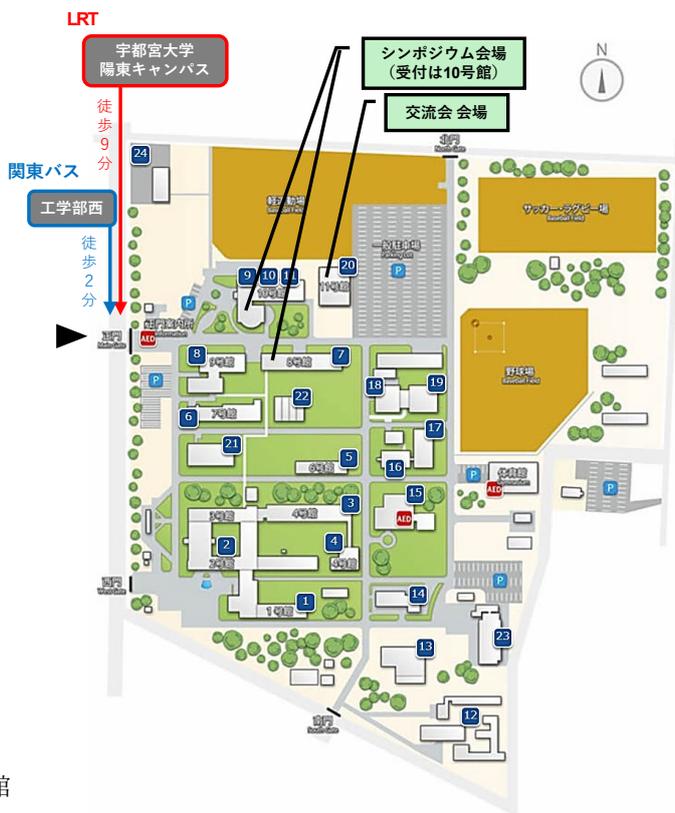
[ダイヤ \(4 月 1 日改正\)](#)

関東バス ベルモール行 (3 番乗り場)

宇都宮駅東口～工学部西

乗車約 10 分，下車後正門まで徒歩 2 分

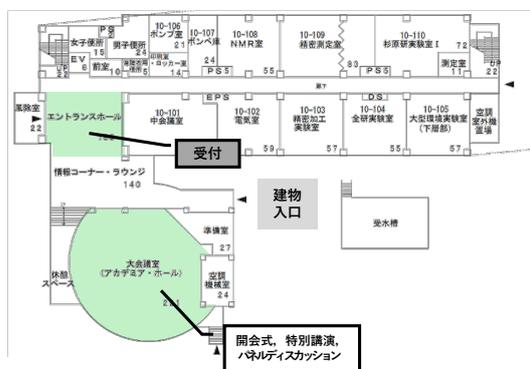
[ダイヤ](#)



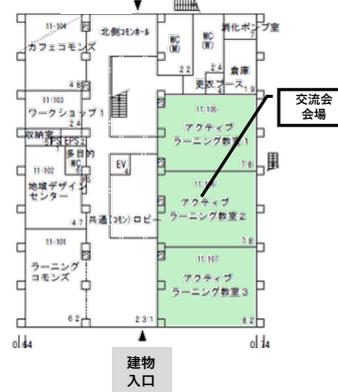
会場案内図

陽東キャンパス 10 号館 (**受付**)，8 号館，11 号館

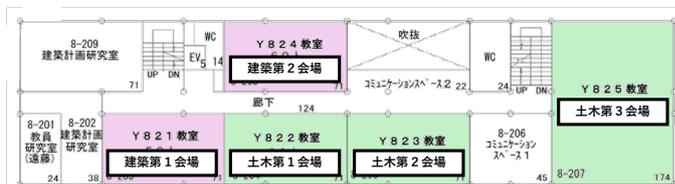
10号館 1F



11号館 1F



8号館 2F



1F



〈昼食について〉

- ・徒歩 10 分圏内の商業施設ベルモールに複数の飲食店がございます。
- ・大学周辺にコンビニエンスストアがあり，会場で昼食をおとりいただくことも可能です。